



三菱重工業 機械・鉄構業務部次長

副島 雅之さん 50

手品師ビリー 楽しみは慰問

「これは夫婦の手品です」
長い指で手早くトランプを
さばき、計4組のキングとク

インのペアを作り
の部門の管理という「お堅い
仕事」だ。だが、夜は「ビリー

オフのイチ押し

「という名の手
品師として、東京
・赤坂や六本木の
バーで、手品を繰
り出し客を魅了す
る。腕前は、プロ
手品師から「十分

めくると、クイ
ンのカードは消え、キングと
ペアになっているのは「新し
い妻」の「エース」だった。

手品で飯が食える」と太鼓判
を押されるほどだ。
手品は、神戸から東京へ単

身赴任になった6年前に始め
た。忘年会で、通販で買った
道具で披露した手品が「うけ
た」ことから、のめり込んだ。
最初は「人に見せられる腕で
はなかった」。

そんな時、プロのショーを
目で見て、技のすごさに衝
撃を受けた。毎日練習を続け
たら、ふっと一回だけ成功し
て、気づいた。「どんな難し
い技も何千回も繰り返せば手
が覚える」

今では、年100回以上の
ショーをこなすが、すべて無
償だ。最大の楽しみは、児童

養護施設などの慰問。「子供
たちが、人だかりになって喜
んでくれると、一生懸命練習
してよかったと心底思う」
(愛敬珠樹)

【こぼれ話】夢は、定年後
に豪華客船に専属手品師とし
て乗り、妻と世界一周するこ
とだ。「長旅だから、乗客に
飽きられないようもっと技を
増やさなくては」と練習にも
身が入る。乗る客船は「当然、
三菱重工製」だ。